

# バージョンアップユーティリティ操作説明書

対象製品

CommAssist-CWA

CommAssist-CX

CommAssist-100X

CommAssist-100XP

CommAssist-io



**アイネットデバイス株式会社**

## はじめに

本ツールは、アイネットデバイス株式会社製の製品（フラッシュROM対応のみ）本体プログラムをアップデートするためのものです。

このツールを使用して製品のアップグレードを行うためには、製品のバージョンアップファイルが必要になります。

バージョンアップファイルは、アイネットデバイス（株）ホームページ（<http://www.i-netd.co.jp>）にアップロードされています。

## TCP/IP アップデートツールの説明

バージョンアップツールの使用方法について記述致します。

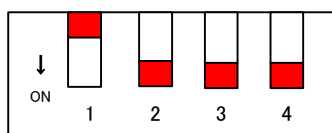
1. Windows で TCP/IP を導入しているパソコンに”ICSUPDT.EXE”及びバージョンアップファイルをコピーしてください。

例) copy a:\icsupdt.exe c:\update

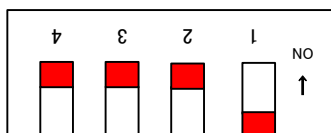
copy a:\xxx\_xxx.bin c:\update

2. ディップスイッチを **1-OFF 2,3,4-ON** に変更し、電源を入れ直して下さい。

例) バージョンアップモードのディップスイッチ (CommAssist-100XP)



例) バージョンアップモードのディップスイッチ (CommAssist-io)



バージョンアップモードに変更して電源を投入すると、次のLEDが点灯するか確認してください。

バージョンアップモード起動時のLED

- ・ CommAssist-CWA

D1 : オレンジ

D2 : 緑

- ・ CommAssist-CX/100X/100XP/io

NET : オレンジ

MON : 緑

3. “Ping” コマンドを使用して、製品に接続確認を行って下さい。

例) MS-DOS プロンプト上から ping コマンドを実行します。

```
C:\WINDOWS>ping 128.10.6.5

Pinging 128.10.6.5 with 32 bytes of data:

Reply from 128.10.6.5: bytes=32 time=12ms TTL=120
Reply from 128.10.6.5: bytes=32 time=6ms TTL=120
Reply from 128.10.6.5: bytes=32 time=5ms TTL=120
Reply from 128.10.6.5: bytes=32 time=7ms TTL=120

Ping statistics for 128.10.6.5:

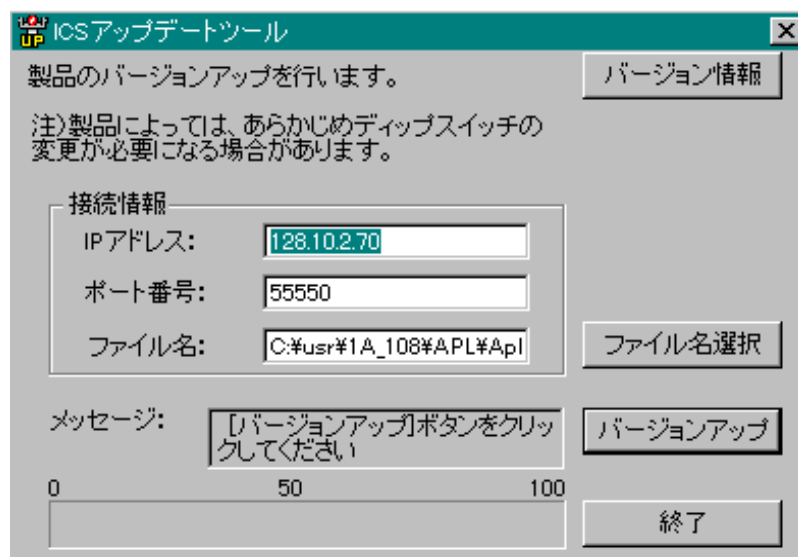
    Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss),
    Approximate round trip times in milli-seconds:
```

4. ICS アップデートツールを起動して下さい。

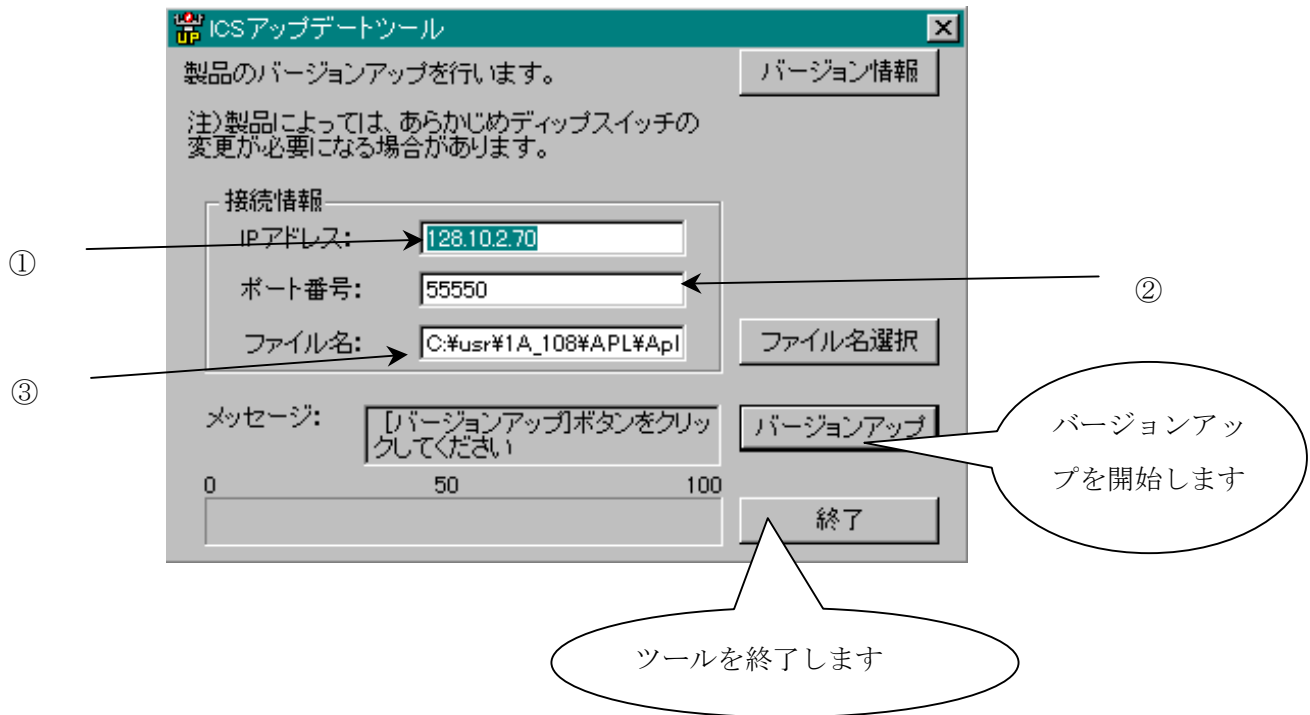
起動方法) スタートメニューから『ファイル名を指定して実行』を選択してください。

”ICSUPDT.EXE”を実行して下さい。

実行を行うと次の画面が表示されます。



5. メニューの説明を以下に記述します。



① I P アドレス …製品に設定している IP アドレスを入力して下さい。

②ポート番号 …製品名を設定してください。  
“55550” を設定してください。

③ファイル名 …バージョンアップを行うファイル名を設定してください。

また、ファイル名選択ボタンでファイル参照することができます。

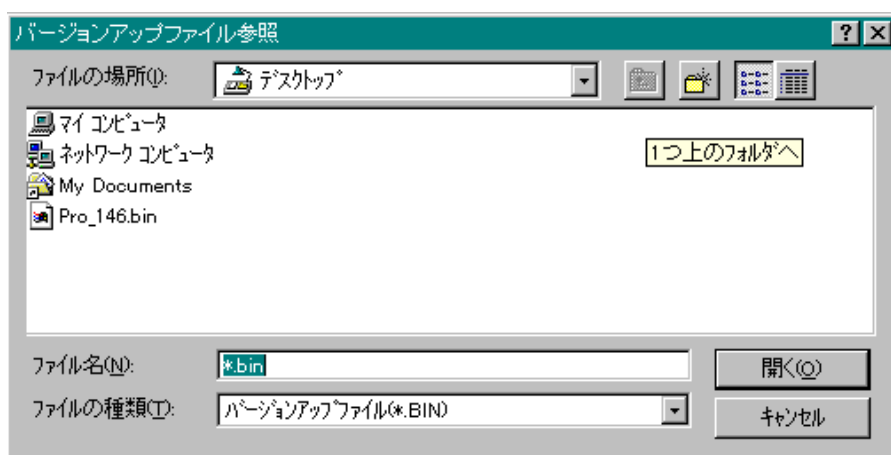
バージョンアップファイル名の形式は以下になっております。

例)

CommAssis-CWA	CommAssist-CWA2_xxx.bin
CommAssist-CX	CommAssist-CX_xxx.bin
CommAssist-100X	CommAssist-100X_xxx.bin
CommAssist-100XP	CommAssist-100XP_xxx.bin
CommAssist-io	CommAssist-io_xxx.bin

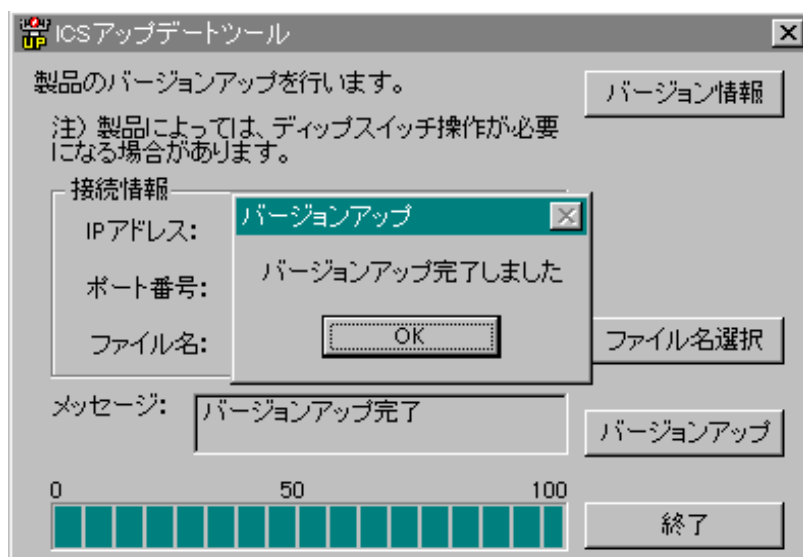
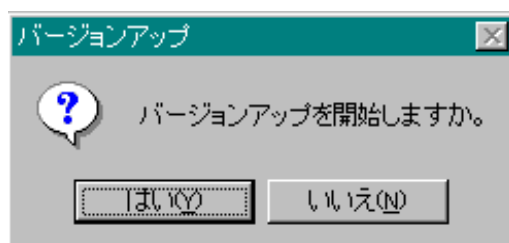
※ xxx…バージョン名です。

## ファイル参照画面



## 6. バージョンアップ方法

IP アドレス／ポート番号／ファイル名を設定後、バージョンアップボタンを押して下さい。  
バージョンアップボタンを押すことで、確認メッセージが表示後にバージョンアップ開始されます。  
バージョンアップ時はプログレスバーがカウントされます。



7. バージョンアップ完了後の操作について以下に記述致します。

ディップスイッチを通常的位置（以下参照）に戻し、電源を入れ直して下さい。

telnet または IP 設定ツールでバージョンを確認してください。

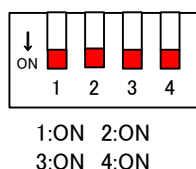
ディップスイッチ

・全部 **OFF** にしてください。

バージョンアップを行った場合、元のバージョンによっては電源再投入後、NV\_RAM エラー（取扱説明書を参照）が発生する場合があります。この時は下記に示す操作を行ってください。

1. 工場出荷時モードで工場出荷値の再書込を行ってください。

工場出荷時モードはディップスイッチを下記のようにしてください。



ディップスイッチを左図のようにした後、電源をONにするとNET(D1)ランプが約6秒間、橙点灯します。工場出荷値書き込みが終了したらNET(D1)ランプが消灯します。

工場出荷値の再書込が終了した後、運用モード（ディップスイッチを**全部 OFF**）で運用してください。

ただし、設定値は工場出荷値になっていますので、初期設定を行なう必要があります。

## アンインストールについて

IND アップデートツールは、INI ファイルを Windows ディレクトリに作成します。

アンインストールする場合は、次のファイルを削除してください。

削除するファイルについて

ICSUPDT.EXE

ICSUPDT.INI

バージョンアップファイル